



# 宮崎県社会教育委員連絡協議会

## 会報[第14号] 平成24年3月発行



県社会教育委員連絡協議会  
会長 森山喜代香



日増しに春めいてまいりました。各市町村の社会教育委員の皆様方には、いつもお力添えいただき誠にありがとうございます。

り、今まさに社会教育委員の出番だと考えます。

さて、昨年の大震災以来、コミュニティが、私も密着し、最も集落（自治体）は、再構築の求むる社会教育委員の出番です。社会教育委員の出番です。社会教育委員の出番です。

すでに御案内のとおり、本年11月1日（木）～2日（金）には、メディアセンターを主会場に「語らう！社会教育」～今、社会教育に求められているもの～をスローガンに掲げ「第42回九州ブロック社会教育研究大会宮崎大会」を開催します。

それぞれの市町村には、それぞれの歴史があり、風土が異なり、顔が異なり、特色が求められ、それぞれが、それぞれの役割を

九州各県の社会教育委員や公民館関係者が「かたい絆の社会教育」について大いに語り合う場としたいと考えます。本号は、本年度最後の会報となりますが今後の参考にしていただくと幸いです。

本年度の各地区の取組を紹介します。



### 【宮崎地区】宮崎地区社会教育委員連絡協議会 会長 片野坂 千鶴子

宮崎地区社会教育委員連絡協議会は、宮崎市、国富町、綾町の1市2町で構成され社会教育の理念に基づき、地域の交流活動や研修会などを実施してきました。活動内容は下記の通りです。

#### 【第1回理事・担当者会】 平成23年6月24日

- 平成23年度総会について

#### 【第1回会議】 平成23年7月14日

- 平成23年度総会  
・役員選出、平成22年度事業報告、決算報告、監査報告
- 平成23年度事業計画案、予算案の審議  
県理事会の報告
- 講演会  
・講師 綾部 正哉 氏  
・演題 「生涯生燃」  
・概要



#### 【第2回会議】 平成23年11月25日

- 各町の研究状況報告  
綾町…自治会を中心とした生涯学習の推進  
国富町…学校と地域が共に助け合い、共に高め合い、共に支え合う活動の推進



- 研究発表 国富町社会教育委員 猪股 秀信 氏

「椎葉村に居を移され、村社会が生んだ文化がなくなっている現在の椎葉村に残っている平等についての話がありました。世の中の進展が人の幸せにつながっていないことや変革するには3つの壁（制度の壁、風俗・習慣の壁、意識の壁）があることなどについて話していただきました。」

「学校と地域が共に助け合い、共に高め合い、共に支え合う活動の推進」と題して、木脇小・中学校の「学校支援地域本部事業」の取組についてお話がありました。

#### 【第2回理事・担当者会】 平成24年2月24日

- 平成23年度事業報告・決算見込み
- 平成24年度事業計画・予算案審議

【北諸県地区】 都城市社会教育委員連絡協議会 会長 坂元 和雄

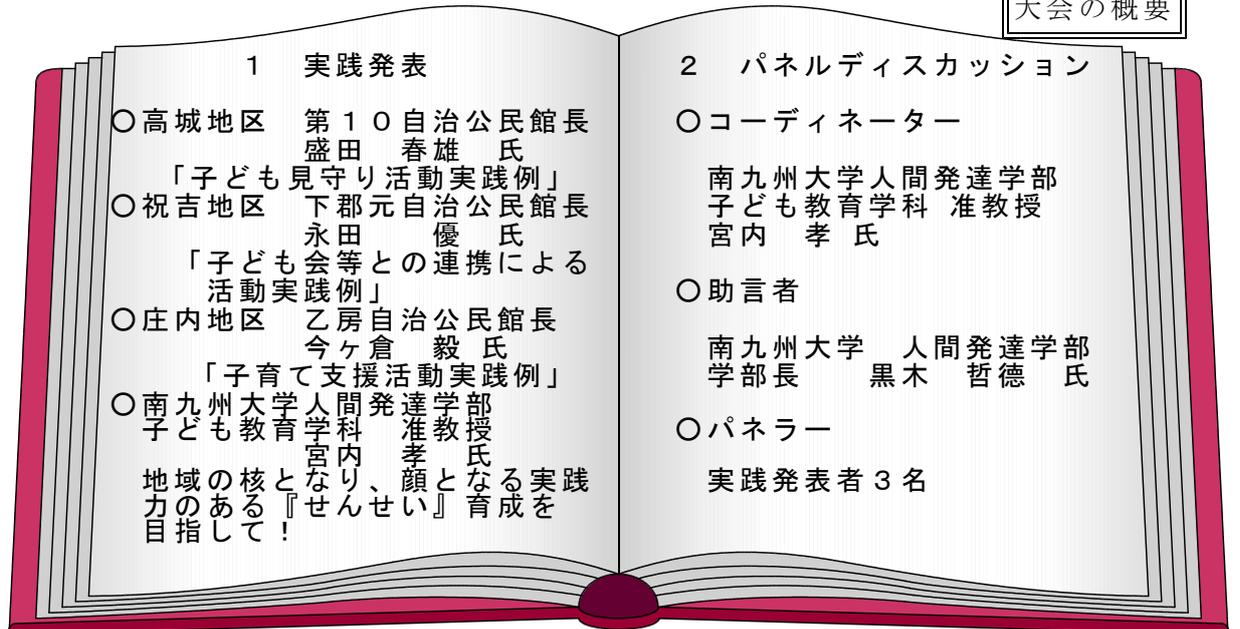
北諸県地区の取組として、昨年 11 月に都城市総合文化ホールにて開催した「平成 23 年度都城市自治公民館地域振興大会兼都北地区公民館実践研究セミナー」について報告します。

この大会は、地域で子どもを見守る実践等を通して、子どもが地域の中で安心して健やかに育まれる環境づくりを推進することを目的に開催し、地区内の自治公民館長、社会教育委員、行政職員等約 300 名が参加しました。

実践発表や、パネルディスカッションが行われ、自治公民館における活動を通じて、地域の子どもの育成をテーマに活発な意見がかわされました。



大会の概要



【児湯地区】 西都・児湯地区社会教育委員連絡協議会 会長 山下 捷夫



西都・児湯地区では、2月27日に西都・児湯社会教育委員連絡協議会研修を木城町総合交流センターリバリス2階大会議室で行いました。

研修では、県社会教育委員連絡協議会 会長の森山 喜代香 氏から「地域づくりにおける社会教育委員の心構え」についてご講話いただきました。

内容は、綾町における自治公民館活動と生涯学習による人づくり、まちづくりへの実践的な取組であり、その説得力あふれる内容は、当日参加した児湯地区の社会教育委員、行政関係者にとって大変参考になるものでありました。

また、県教育庁生涯学習課の長尾 岳彦 社会教育主事より県の事業説明をいただき、そ取組について改めて理解することが出来たところです。

一昨年の口蹄疫からの復興を目指す当地区においては、今後更なる生涯学習、社会育による充実した取組が重要になります。我々社会教育委員による地域への支援が、大切になってきますが、今回の研修を活かして更に尽力していきたいと思っております。



【南那珂地区】南那珂地区社会教育委員連絡協議会 会長 中島 淳佑

南那珂地区社会教育委員連絡協議会では、地域における社会教育推進上の諸課題の把握に努めるとともに、社会教育委員としての識見を高めることを目的に、年間2回の研修会を実施しています。



【第2回研修会の様子】

H24. 1. 19 於:旧吉松家住宅(串間)

第1回研修会は、『思春期の問題行動の背景』と題して、社会福祉法人浄信会三松保育園長の林和豊氏を講師にお招きしました。

「大人は、子どもが失敗した時に、それを正すことしか目がかないことが多い」とのお話や、これから子どもが将来の自立を考えると、失敗やトラブル、挫折を「チャンス」と捉え、それを再認識することが大切です。

どちらの研修会も多くの会員の出席があり、盛会に終わりました。地域住民と行政との連携・調整役としての社会教育委員の役割の重要性を考えるいい機会となりました。出席した会員からは、「社会教育委員としての今後の活動に大変参考になった」との感想も聞かれ、今後もこのような研修の場を継続させていく必要性を改めて感じました。



第2回研修会は、『自然教材としての都井岬』と題して、串間市文化財専門員の秋田優氏を講師にお招きしました。

「岬馬を中心とした動植物の営みが観察できる都井岬はその環境すべてが設備費不要の『箱物でない自然博物館』である」とのお話から、改めて地域の魅力を見つめるよい機会となりました。

【北部地区】門川町社会教育委員会 会長 長谷川 義明

門川町の社会教育委員は、社会教育関係団体・学校の代表及び学識経験者の9名で構成され、年3回の会議及び県・県北地域の研修会等に参加しております。

今年度は、任期満了の改選の時前回と同様に委員9名中半数以上5名の委員が替わりました。替わった委員の方もそれぞれが教育に精通された方であり、それぞれの情報交換の場として好都合です。しながら、社会教育委員の役割とは、社会教育委員は社会教育法第17条に掲げられている「諸計画の立案」「教育委員会の助言及び意見を述べること」等社会教育委員の職務を十分に果たしているかという思いがありました。

そこで、本年度は、新たな試みとして当初に町長・教育長・幹部職員との意見交換を兼ねた新旧委員の歓送迎会を実施することとしております。

また、毎月実施される社会教育事業予定表を送付し、情報提供とともに都合が定つけられる方には参加して頂き、社会教育関係団体等の活動に理解を深め幅広い知識を得ることで、社会教育委員としての役割を果たすことが出来ることを確認しております。

3月には実施予定の教育委員との意見交換会では、委員としてその職務を再認識する機会を、委員として並に社会教育委員が果たすべき役割を再確認いたします。

更により良い委員会体制づくりに努めてまいりたいと考えております。

今後はまず、目的に沿った門川町社会教育の振興のための意見・提言を積極的に行っていくかなければならないと思っています。



【西諸県地区】西諸県地区社会教育委員連絡協議会 会長 西 誠

●小林市社会教育委員の会では、本年度の研究主題である「学校と家庭・地域が一体となった地域の教育環境づくり」を検証するために、会議と視察研修を開催して審議を重ねてまいりました。  
本年度の活動の中から次の事項について報告をいたします。

小林市の取組の紹介です。



1 市長・副市長、市長部局、教育委員、社会教育委員懇話会

昨年度に引き続き、10月18日(火)に市長・副市長、市長部局、教育委員、社会教育委員懇話会が開催されました。最初に、市政概要や教育行政概要等を市長・教育長をはじめ各担当課長からお聞きしました。その後、協働のまちづくりの在り方、市内9中学校区の全ての21学校で実施する学校支援地域本部事業(こばやしスクールサポートボランティアセンター:KSSVC)の取組状況、社会教育活動(文化的行事、体育的行事、伝統行事、史跡)の在り方等について、社会教育委員から質問や意見をさせていただきました。昨年度から始めた懇話会ですが、今後、更に意義のある懇話会になることを願っております。

2 第33回全国公民館研究集会・第62回九州地区公民館研究大会佐賀大会への参加

10月20日(木)・21日(金)に12名の自治公民館長と一緒に1泊2日の計画で参加しました。  
緊急フォーラムでは、3月に発生した東日本大震災で被災された岩手県の公民館長お二人のお話が強く印象に残りました。これまでも公民館は、社会教育の中核施設として、地域づくりや人づくりの拠点として大きな役割を果たしてきましたが、改めて、その役割の大きさに気付かされました。  
帰路は雨が降るあいにくの天気になりましたが、社会教育委員としての視野を広げることができ、晴れ晴れとした心持ちでバスに揺られて帰りました。

現代はその地域の資源(人材、物、風土)を大切にしまちづくりをすることが求められている時代であります。

そのような時代に、今、小林市では将来を担う子どもの人づくり、市をリードしていく大人の人づくり、地域住民が参画する協働のまちづくりに積極的に取り組んでおります。様々な関係者間の連携を進める過程で社会教育委員としての取組ができて、人づくり、協働のまちづくりに貢献できることを願っております。



～平成24年度の予定～

○第1回理事会

(九州ブロック社会教育研究大会実行委員会)  
5月15日(火) 県庁内会議室  
(出席者:各地区理事及び監事、実行委員)

○総会

(九州ブロック社会教育研究大会実行委員会)  
7月12日(木) 県庁内会議室  
(出席者:各市町村社会教育委員代表、実行委員)

今後もどうぞよろしく申し上げます  
事務局への御意見、御要望等ありましたら下記まで御連絡ください。



事務局:宮崎県教育庁生涯学習課(担当書記:長尾)  
住所:T 880-8502 宮崎市橘通東1丁目9番10号  
TEL:0985-26-7245  
FAX:0985-26-7342  
E-mail:nagao-takehiko@pref.miyazaki.lg.jp

○九州ブロック社会教育研究大会宮崎大会

11月1日(木)～2日(金)  
宮崎市メディキット県民文化センター他

○第2回理事会

(九州ブロック社会教育研究大会実行委員会)  
12月14日(金) 県庁内会議室  
(出席者:各地区理事、実行委員)

○全国社会教育研究大会山梨大会

10月25日(木)～26日(金)  
山梨県